

平成30年2月定例会 企画財政委員会（急施議案）の概要

日時 平成30年2月26日（月） 開会 午後 3時 8分
閉会 午後 3時18分

場所 第1委員会室

出席委員 齊藤邦明委員長

白土幸仁副委員長

吉良英敏委員、中野英幸委員、田村琢実委員、小林哲也委員、

野本陽一委員、田並尚明委員、福永信之委員、醍醐清委員、

前原かづえ委員

欠席委員 なし

説明者 砂川裕紀企画財政部長、堀光敦史企画財政部副部長、小野寺亘改革政策局長、
山崎明弘地域政策局長、山口均参与、加藤繁企画総務課長、徳重覚財政課長

伊東弘道会計管理者

上原満監査事務局長

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|------|------------------------|------|
| 第51号 | 平成29年度埼玉県一般会計補正予算（第5号） | 原案可決 |

2 請願

なし

【付託議案に対する質疑】

田村委員

本委員会に付託されている第51号議案では、補正予算（第5号）として、歳出の増額が計上されている一方で、別に追加提案された補正予算（第6号）では歳出が減額されている。増額する一方で減額という分かりにくい状況となっているが、その整合性はどうか。

財政課長

補正予算（第5号）は、国の補正予算が成立したことに伴い、本県に割り当てられた事業の予算を増額したものである。一方、補正予算（第6号）は今年度当初予算について、例えば国庫補助の内定差などにより減額となるものであり、それぞれ異なる理由により提案している。

田村委員

不用額があるからといって、200億円以上もの減額補正をするのでは、十分な投資がなされていないのではないかと感じる。同じ時期に減額と増額の予算が提案されることは矛盾を起こしているように見える。このような観点から、今後は予算執行に気を遣って補正予算を計上すべきと考えるがどうか。

財政課長

予算化している事業をしっかりと執行すべきとの御指摘と承って、予算として御議決いただいたものは、適切に執行管理してまいりたい。

【付託議案に対する討論】

なし